



平成28年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成27年8月4日

上場会社名 東洋精糖株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 2107 URL <http://www.toyosugar.co.jp>  
 代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)水本 圭昭  
 問合せ先責任者 (役職名)常務取締役管理本部長 (氏名)立澤 一郎 (TEL)03(3668)7871  
 四半期報告書提出予定日 平成27年8月7日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成28年3月期第1四半期の連結業績(平成27年4月1日~平成27年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年3月期第1四半期	3,772	6.0	117	△5.7	138	△13.9	95	△13.9
27年3月期第1四半期	3,558	△3.3	124	△41.9	161	△31.1	111	△25.7

(注) 包括利益 28年3月期第1四半期 123百万円(8.9%) 27年3月期第1四半期 113百万円(△31.0%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年3月期第1四半期	1.76	—
27年3月期第1四半期	2.04	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
28年3月期第1四半期	11,524	6,838	59.3
27年3月期	12,082	6,824	56.5

(参考) 自己資本 28年3月期第1四半期 6,838百万円 27年3月期 6,824百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年3月期	—	0.00	—	2.00	2.00
28年3月期	—	—	—	—	—
28年3月期(予想)	—	0.00	—	2.00	2.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成28年3月期の連結業績予想(平成27年4月1日~平成28年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	7,100	△1.0	190	△36.2	220	△37.2	150	△35.9	2.75
通期	14,300	△0.8	540	△8.1	590	△10.7	450	—	8.25

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無  
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)  
 新規 — 社(社名) — 、除外 — 社(社名) —
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	28年3月期1Q	54,560,000株	27年3月期	54,560,000株
② 期末自己株式数	28年3月期1Q	25,960株	27年3月期	25,944株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	28年3月期1Q	54,534,050株	27年3月期1Q	54,534,372株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

- ・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- ・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

わが国経済は、政府や日銀の経済・金融緩和策を背景に、輸出関連企業を中心に収益改善が見られたものの、継続する円安の影響による原材料価格の高騰や人件費の上昇、実質所得の減少による消費マインドの低迷など、先行きは依然として不透明な状況が続いております。

このような状況下、当社グループは引続き安全・安心を最優先に、商品の安定供給に努め、併せて製造・販売コストの管理を徹底し、収益の確保に努めてまいりました。

その結果、連結売上高は3,772百万円(前年同期比6.0%増)、連結営業利益117百万円(前年同期比5.7%減)、連結経常利益138百万円(前年同期比13.9%減)、親会社株主に帰属する連結四半期純利益95百万円(前年同期比13.9%減)となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

## 砂糖事業

国内景気を反映した需要増加と安定した天候により、販売数量は前年同期を上回り、売上高は3,438百万円(前年同期比9.2%増)となりました。営業利益は、原材料調達コストや製造・販売コストの低減により、258百万円(前年同期比19.4%増)となりました。

## 機能素材事業

販売数量は化粧品原料が好調であったものの、価格改定の影響により酵素処理ステビアが低調に推移したことや飲料・健康食品向けの酵素処理ルチンの出荷が低調であったため前年同期を下回り、売上高は272百万円(前年同期比12.9%減)となりました。営業利益は製造・原材料調達コストの上昇により、13百万円(前年同期比53.7%減)となりました。

## 不動産賃貸事業

前期(平成27年3月)に行った賃貸用固定資産の譲渡による賃貸収入の減収などにより、売上高は61百万円(前年同期比36.4%減)、営業損失は15百万円となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

## (資産、負債及び純資産の状況)

当第1四半期末の資産合計は、現金及び預金の減少などにより、前期末に比べ558百万円減少し11,524百万円となりました。負債合計は、支払手形及び買掛金や短期借入金の減少などにより、前期末に比べ572百万円減少し4,685百万円となりました。純資産合計は、配当金の支払による利益剰余金の減少があるものの、その他有価証券評価差額金の増加などにより、前期末に比べ14百万円増加し6,838百万円となりました。この結果、自己資本比率は前期末の56.5%から59.3%となりました。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成28年3月期の連結業績予想につきましては、平成27年5月12日付「平成27年3月期決算短信〔日本基準〕(連結)」にて公表いたしました連結業績予想から変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計方針の変更)

「企業結合に関する会計基準」(企業会計基準第21号 平成25年9月13日。以下「企業結合会計基準」という。)、  
「連結財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第22号 平成25年9月13日。以下「連結会計基準」という。)  
及び「事業分離等に関する会計基準」(企業会計基準第7号 平成25年9月13日。以下「事業分離等会計基準」という。)等を、当第1四半期連結会計期間から適用し、  
支配が継続している場合の子会社に対する当社の持分変動による差額を資本剰余金として計上するとともに、  
取得関連費用を発生した連結会計年度の費用として計上する方法に変更いたしました。また、  
当第1四半期連結会計期間の期首以後実施される企業結合については、暫定的な会計処理の確定による取得原価の配分額の見直しを企業結合日の属する四半期連結会計期間の四半期連結財務諸表に反映させる方法に変更いたします。加えて、  
四半期純利益等の表示の変更を行っております。当該表示の変更を反映させるため、前第1四半期連結累計期間及び前連結会計年度については、  
四半期連結財務諸表及び連結財務諸表の組替えを行っております。

企業結合会計基準等の適用については、企業結合会計基準第58-2項(4)、連結会計基準第44-5項(4)及び事業分離等会計基準第57-4項(4)に定める経過的な取扱いに従っており、  
当第1四半期連結会計期間の期首時点から将来にわたって適用しております。

なお、当第1四半期連結累計期間において、四半期連結財務諸表に与える影響額はありませ

## 3. 四半期連結財務諸表

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成27年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	2,704	2,045
受取手形及び売掛金	1,506	1,507
商品及び製品	990	955
仕掛品	176	94
原材料及び貯蔵品	796	927
その他	1,358	1,386
貸倒引当金	△13	△13
流動資産合計	7,518	6,903
固定資産		
有形固定資産	1,436	1,419
無形固定資産	48	45
投資その他の資産		
投資有価証券	656	709
長期貸付金	1,964	1,964
退職給付に係る資産	76	81
その他	386	366
貸倒引当金	△6	△6
投資その他の資産合計	3,078	3,116
固定資産合計	4,563	4,581
繰延資産	-	39
資産合計	12,082	11,524

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成27年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	882	770
短期借入金	2,705	2,451
未払法人税等	24	6
賞与引当金	70	33
その他	738	640
流動負債合計	4,420	3,901
固定負債		
長期借入金	379	369
役員退職慰労引当金	102	50
退職給付に係る負債	330	319
資産除去債務	1	1
その他	23	42
固定負債合計	838	783
負債合計	5,258	4,685
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	2,904	2,904
利益剰余金	3,856	3,843
自己株式	△3	△3
株主資本合計	6,757	6,744
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	41	69
繰延ヘッジ損益	0	-
退職給付に係る調整累計額	24	24
その他の包括利益累計額合計	66	93
純資産合計	6,824	6,838
負債純資産合計	12,082	11,524

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年6月30日)
売上高	3,558	3,772
売上原価	2,878	3,109
売上総利益	679	663
販売費及び一般管理費		
販売費	248	260
一般管理費	306	285
販売費及び一般管理費合計	554	546
営業利益	124	117
営業外収益		
受取利息	9	9
受取配当金	1	1
持分法による投資利益	8	8
その他	21	4
営業外収益合計	41	24
営業外費用		
支払利息	4	3
その他	0	0
営業外費用合計	5	3
経常利益	161	138
税金等調整前四半期純利益	161	138
法人税、住民税及び事業税	23	2
法人税等調整額	25	40
法人税等合計	49	42
四半期純利益	111	95
親会社株主に帰属する四半期純利益	111	95

## 四半期連結包括利益計算書

## 第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年6月30日)
四半期純利益	111	95
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△4	28
繰延ヘッジ損益	△0	△0
退職給付に係る調整額	6	△0
その他の包括利益合計	1	27
四半期包括利益	113	123
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	113	123

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年6月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	161	138
減価償却費	39	22
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△19	△0
賞与引当金の増減額(△は減少)	△34	△36
退職給付に係る資産の増減額(△は増加)	-	△7
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	6	△9
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	3	△51
受取利息及び受取配当金	△11	△11
支払利息	4	3
持分法による投資損益(△は益)	△8	△8
売上債権の増減額(△は増加)	△12	△0
たな卸資産の増減額(△は増加)	97	△14
仕入債務の増減額(△は減少)	△340	△112
未払金の増減額(△は減少)	34	44
その他	56	△228
小計	△22	△271
利息及び配当金の受取額	1	1
利息の支払額	△4	△3
法人税等の支払額	△163	△20
営業活動によるキャッシュ・フロー	△188	△293
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
投資有価証券の取得による支出	△0	△0
有形固定資産の取得による支出	△6	△11
無形固定資産の取得による支出	△5	-
貸付金の回収による収入	0	0
その他	-	△2
投資活動によるキャッシュ・フロー	△12	△14
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額(△は減少)	290	△210
長期借入金の返済による支出	△53	△53
自己株式の取得による支出	△0	△0
配当金の支払額	△85	△86
財務活動によるキャッシュ・フロー	151	△350
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△49	△658
現金及び現金同等物の期首残高	465	2,704
現金及び現金同等物の四半期末残高	415	2,045

## (4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

## I 前第1四半期連結累計期間(自平成26年4月1日至平成26年6月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	砂糖事業	機能 素材事業	不動産 賃貸事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	3,148	313	96	3,558	—	3,558
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	2	2	△2	—
計	3,148	313	98	3,560	△2	3,558
セグメント利益	216	28	25	270	△145	124

(注) 1. セグメント利益の調整額は、主として各報告セグメントに配分していない全社費用(一般管理費)であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

## II 当第1四半期連結累計期間(自平成27年4月1日至平成27年6月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	砂糖事業	機能 素材事業	不動産 賃貸事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	3,438	272	61	3,772	—	3,772
セグメント間の内部売上高 又は振替高	0	—	—	0	△0	—
計	3,439	272	61	3,772	△0	3,772
セグメント利益又は損失(△)	258	13	△15	256	△138	117

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額は、主として各報告セグメントに配分していない全社費用(一般管理費)であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。